

9 No.7
SEPTEMBER.2006

Y O S A N O
広報

よさの



8月8日から11日まで開催された「与謝野町サマーキャンプ2006」での一コマ。二瀬川溪流（福知山市）では悪戦苦闘しながら、沢登りに挑戦しました。

[特集1◎P2-3]

第19回京都府消防操法大会

[特集2◎P4-5]

風船が運んだひとつの物語

[特集3◎P6-7]

乗って守ろうKTR

まちの話題／行政NEWS／健やか広場
図書館へ行こう！／国際交流員の紹介／時の贈り物



↑野田川第5分団のポンプ車操法

宮津与謝支部操法大会結果

京都府消防操法大会に先立ち「第12回京都府消防協会宮津与謝支部消防操法大会」が7月23日、本庄中学校グラウンド(伊根町)で開催されました。

宮津市、伊根町、与謝野町の3市町の消防団が集うこの大会に、与謝野町消防団からは小型ポンプ操法には加悦第2分団、岩滝方面隊選抜チーム、野田川第4分団が、ポンプ車操法の部には加悦第3分団、岩滝第4分団、野田川第5分団が出場しました。結果は次のとおりです。

■小型ポンプ操法の部

優勝 宮津市消防団
準優勝 与謝野町消防団 岩滝方面隊

■ポンプ車操法の部

優勝 宮津市消防団
準優勝 与謝野町消防団 岩滝方面隊



↑←加悦第2分団の小型ポンプ操法



法を展開しました。惜しくも入賞を逃した加悦第2分団、野田川第4分団ともに持つ力を存分に発揮し、出場3隊の小型ポンプ操法は「与謝野町消防団ここにあり」の姿を見せてくれました。

優勝した岩滝方面隊は、10月19日に兵庫県三木市で開催される「第20回全国消防操法大会」への出場が決定。全国の舞台で与謝野町消防団の活躍が期待されます。

→野田川第4分団の小型ポンプ操法



岩滝方面隊の小型ポンプ操法

「特集◎第19回京都府消防操法大会」

与謝野町消防団、全国大会へ。

与謝野町消防団の歴史の始まりに最高の結果が刻まれました。

京都府立丹波自然運動公園(京丹波町)で開催された「第19回京都府消防操法大会」で与謝野町消防団岩滝方面隊が小型ポンプ操法の部において優勝の栄冠を勝ち取りました。

8月6日の大会当日は酷暑。グラウンド内の気温は40度を超えようかという暑さで立っているのもままならないほど。

与謝野町消防団からは小型ポンプ操法の部に、加悦第2分団、岩滝方面隊選抜チーム、野田川第4分団が出場し、5月からの訓練の成果を披露しました。

旧町時代それぞれの方面隊が全国大会への出場経験があり、府内屈指の消防団として、その一挙手一投足が注目される中、訓練開始。士気の旺盛さと規律、そしていかに早くかつ正確にポンプの放水を行い、火点とされる的を倒すかを競う、実戦を想定した水出し操法で、岩滝方面隊は33出場隊中最速のタイムで的を倒し、完璧な操

出場隊の紹介

●加悦第2分団

指揮者 西原 一男
1番員 大西 ひろし
2番員 今田 英規
3番員 井上 毅

●岩滝方面隊

指揮者 白数 剛
1番員 倉 隆
2番員 谷口 誠
3番員 川邊 真

●野田川第4分団

指揮者 牛田 昭治
1番員 足立 正行
2番員 山崎 政樹
3番員 茂籠 徳男



↑優勝した岩滝方面隊の要員

風船が運んだ ひとつの物語

たったひとつの風船が
300kmも飛んでいくなんて
信じられますか
小さな風船が運んだ
奇跡の物語を紹介します



↑国分義司さんと風船を飛ばした野村芽衣ちゃん



→国分さんの別荘で記念撮影

「こんにちは！
おてがみまっています」
この手紙を届けたのは、郵便屋さんではありません。なんと、たったひとつの小さな黄色の風船でした。

風船が飛ばされたのは、平成17年10月の三河内幼稚園の運動会。恒例の風船飛ばしで、野村芽衣ちゃんの手から放たれた風船は秋風に乗って、アルプスの山々を越えていきました。

その長い旅路の果てにたどり着いたのは長野県戸隠高原のとある別荘。約300kmを旅した風船が心あるご主人に拾われたことから物語が始まります。

別荘のご主人は、名古屋学芸大学教授の国分義司さん。さっそく三河内幼稚園に返事を送りました。「こんにちは。おてがみありがとうございます。とがくしはともきれいなところです。いちどあそびにきてく

戸隠高原の中にある「ギャラリー」とがくれ」を会場に、園児たちの絵と、三河内幼稚園から戸隠までの風船の軌跡が一目でわかるようにとイメージジオラマ(模型)を作り展示しました。

風船が手紙を届けてから10か月の時を経て、8月5日、「風の便り」風船が運んだ小さな展覧会」がオープンしました。

オープン当日には、風船を飛ばした芽衣ちゃん家族をはじめ園児の4人の家族と先生が会場を訪れ、国分さんと初めて顔を合わせました。

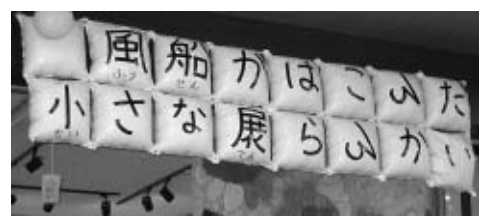
芽衣ちゃんとの対面に感動した国分さんは両手で握手し、実際に飛んできた風船を見せてくれました。風船は割れてしまっていますが大切に保管され、手紙はきれいに残っていてびっくり。

園児たちはギャラリーに展示された自分たちの絵や、ジオラマを見て大喜びでした。

また国分さんの別荘にも足を運び楽しいひとときを過ごしました。

「こんにちは！
まさか長野県から手紙が返ってくるなんて想像もしていなかった園児たちはとても喜んで、手紙のお礼にとたくさんの絵を描いて送りました。

その後も国分さんからはクリスマスに絵描きセットや紙芝居などが届き、またそのお礼に年賀状を送ったりと交流が続きました。



園児たちの描いた絵をたいへん気に入った国分さんは、風船が奇跡的に届けたこの縁をかた

ちにしたいと考え、「風船がはこんだ小さな展覧会」としてそのたくさんの絵を展示して、園児たちを戸隠に招待しようと計画。

国分さんの教え子である大学院生が協力して展覧会の準備が始まりました。



残念ながら8月26日でギャラリーの展示は終わってしまいました。が、今度は三河内幼稚園から国分さんに秋の運動会の招待状を出す予定だそうです。

300kmを旅する中で、小さな風船は心を宿し、子どもたちと国分さんをつなぐ、数々の素敵な出会いと物語を生み出したのでした。

→ギャラリーの様子。左下に見えるのが風船の軌跡をたどったジオラマ



KTR野田川駅、朝の通学風景

特集◎北近畿タンゴ鉄道

乗って守ろうKTR

私たちの大切な足である北近畿タンゴ鉄道（KTR）は、年々乗客数が減少するなど、その経営は大変厳しい状況にあります。今月号では、これまでの鉄道の経過を振り返り、KTRの現状を見つめ、「みんなの鉄道」として一層守り育てるためにみんなで考えたいと思います。

▼ご存知ですか鉄道の経過

宮福線は国鉄新線として昭和41年に建設着手されましたが、昭和55年の国鉄再建法施行に伴い工事は凍結となりまじした。しかし、地元が再三の要望を重ねた結果、昭和58年に工事が再開。そして、京都府北部地域と京阪神地域を短絡する路線として、また地域の活性化に欠くことのできない路線として、ようやく昭和63年7月に第三セクター、宮福鉄道株式会社により開業しました。

一方、宮津線については、地域住民の存続のための要望活動も実らず、昭和62年に国鉄線としての廃止が決まりました。しかし、地域住民の日常生活や経済活動、地域の活性化等においては不可欠な公共交通機関であるとして、極めて経営は厳しいと予想されるものの、第三セクターによる鉄道として残し、その運営を宮福鉄道株式会社が引き受けることが決定されました。

こうしてKTRによる運行がスタートしましたが、廃線の危機にあつた当時から見れば、今日までの間には夢ともいえることが実現しています。

▼電化・高速化の実現

それは、京都から福知山、そして天橋立をつなぐ電化・高速化が平成8年3月に完成したことです。さらに、新大阪から乗り換えなしの直通特急として、また丹後地方をつなぐリレー特急として「タンゴ・デイスカバリー号」が新しく導入された結果、国鉄・JR時代と比べ、運行本数はほぼ3倍になり、京都からの所要時間も大幅に短縮されるなど、地域住民や観光客の利便性・快適性は飛躍的に向上し、地域の活性化に大きな役割を果たしています。

■ 路線概要と出資状況(H18.3.1現在)

路線名	営業区間	営業距離	駅数	営業開始
宮福線	宮津～福知山	30.4km	14	S63.7.16
宮津線	西舞鶴～豊岡	83.6km	19	H2.4.1

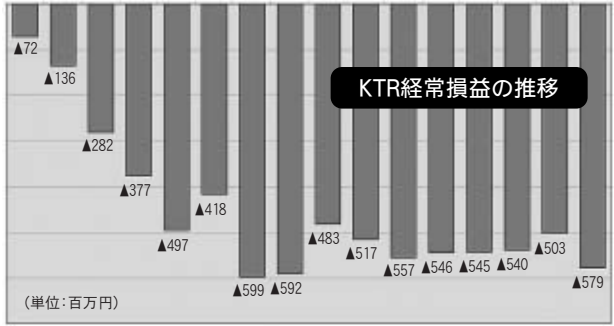
株主	出資額	比率
京都府・兵庫県	6億5,645万円	46.89%
京都府 6市2町/兵庫県 1市(与謝野町)	4億9,145万円(4,380万円)	35.10%(3.13%)
民間企業・団体	2億5,210万円	18.01%
合計	14億円	100%

▼厳しい経営状況

利便性、快適性の向上が図られ、さらにJR西日本と共同での「天橋立～るりんパス」や、KTR独自で「日帰り列車プラン」など様々な事業が企画されてきました。しかし、少子高齢化、道路網の整備によるマイカーへのシフト化など周辺環境の変化によって輸送人員は減少し続けており、昨年度はピーク時(平成5年度)の69%にまで減少しました。

経費は様々な経営改善努力等によって、KTR開業時には年間約16億円と国鉄時代比べて大きく改善されました。しかしその後は、業務の効率化や経費の削減努力は続けられていくものの、全国の第三セクター鉄道の中で2番目に長い路線(114km)の維持・快適な運行のための設備改善や改修等の安全対策費、タンゴ・デイスカバリー号の導入などが要因で増加してきました。

経営損失額が毎年増え続けて



▼乗って守ろうKTR

宮津線廃止の方向が打ち出された16年前、その危機感から「マイレール意識」が強まり、沿線住民の宮津線存続への気持ちが一つになって、利用促進運動が活発に展開されました。

鉄道の存在そのものが当たり前のように感じられる現在、あらためてKTRの必要性を認識し、地域の方で支えていかなければなりません。

そのためには、輸送人員におけるKTR線以外からの乗客の占める割合が60%という特色から、観光誘客やその鉄道利用に力を注ぐことはもちろんのこと、沿線住民が「乗って守る」ことが重要です。

さあ、KTRに乗って みんなで出かけよう!

KTR サポーターズクラブ

KTR沿線市町4市2町で構成する北近畿タンゴ鉄道利用促進協議会では、沿線地域により北近畿タンゴ鉄道を「みんなの鉄道」としてより一層守り育てていくため、地域に密着した利用しやすいKTRのサービス展開についてともに考えながら支援する組織として「KTRサポーターズクラブ」を発足しました。

KTRを支援しようという方ならどなたでも入会できます。入会の方にもれなくKTRご利用カード500円分進呈など各種会員特典もあります。詳細はKTR各有人駅や役場にある申込書をご覧ください。

毎月1日は KTRに乗る日

KTRの積極的な利用や環境への負荷の軽減を図るため、地域のみならずの自主的な実践行動の一つとして、宮津線がJRから転換開業し、宮津線・宮福線が一体運営を開始した平成2年4月1日にちなんで、毎月1日を「KTRに乗る日」として設定しました。

KTRに乗る日には、便利でお得な1日フリー乗車券「まるごと丹後乗り放題きっぷ」をご利用ください。



↑KTRサポーターズクラブの会員証



■ ゆかたの良さをPR

京都府と丹後地域の市、町、商工団体、観光団体、織物団体等で組織する「丹後きものネット」では、地場産業である丹後ちりめんの振興と観光振興を図るため、7月24日から8月31日までを「ゆかたを楽しむ月間」として和装のすばらしさを丹後内外にアピールしました。

町内では8月4日から6日を「ゆかたを楽しむ日」として、役場では窓口職員などがゆかたで勤務しました。訪れた人たちは少し驚きながらも「なかなかいいね」などと好評でした。

また、8月5日には染色教室受講生と町長との懇談会が企画され、受講生が自分で染めたゆかたを披露するなどしてゆかたを楽しむ日を満喫しました。



上/ひまわり畑で町長と染色講座受講生で記念撮影
下/懇談会では自分で染め上げたゆかたが披露されました



←ゆかた姿で勤務する職員

■ 過ぎゆく夏を楽しみました

夏の恒例イベント「岩滝納涼フェスティバル」と「野田川万燈」が8月20日と27日にそれぞれ開催され、訪れた人たちは過ぎゆく夏を楽しみました。

岩滝納涼フェスティバルでは、お化け屋敷や輪投げのゲームコーナーなど楽しい企画が催され、ステージでは橋立中学校のブラスバンド部や野田川太鼓の演奏が祭りに華を添えました。

野田川万燈では、ライブパフォーマンスが会場となった野田川わくばるを熱気に包み込み、心地よい音楽が鳴り響きました。野田川の堤防約5kmにわたって設置された500個の送り火に火が



←岩滝納涼フェスティバルの様子

灯されると会場は静まり返り、その幻想的な世界に夏の思い出をめぐらせているかのようでした。



↑野田川万燈の会場を盛り上げたライブパフォーマンスと打ち上げ花火

■ 太陽の笑顔がいっぱい

丹後の夏の風物詩としてすっかりおなじみとなった「ひまわり15万本」イベントが、8月5日から13日まで野田川わくばる周辺のひまわり畑で開催され、1万人を超える来場者で賑わいました。

期間中は、どろんこバレーボール大会やかかしコンテスト、ひまわり写生会など各種催しが盛りだくさんで、訪れた人たちを楽しませてくれました。

ひまわり畑の横で栽培されたとうもろこし収穫体験コーナーでは、日ごろ味わえない農業体験が大人気で、「生で食べてもすごく甘い」と大好評でした。



↑「おいしい」と評判のとうもろこし。子どもたちはバケツいっぱい収穫していました



←かかしコンテストグランプリ松下哲太郎さんの「おこじよはひまわりうどんが大好き」

→「どろんこバレーボール大会」優勝は「にしむらすずえ」(宇治市)。大会2連覇を勝ち取りました



■ 忘れられない夏の思い出

表紙でも紹介した「与謝野町サマーキャンプ2006」。旧野田川町で実施していたこの事業は、合併を機会に対象を町内全域の小学5・6年生に広げて、8月8日から11日までの3泊4日の行程で実施され、50名の子どもたちが参加しました。

1日目は平林キャンプ場(滝)でテントを張りキャンプをスタート。2日目はマウンテンバイクで二瀬川へ移動し沢を登り、3日目は大江山を縦走し、大江山航空観測所から大内峠一字観公園までマウンテンバイクで移動。最終日は阿蘇海をイカダで横断するというハードな内容。

時にはくじけそうになりながらも、自分の限界に挑戦し、「みんなで協力することがすごく大切だとわかった」という真っ黒に日焼けした子どもたちの顔は、最終日を迎える頃にはたくましさや充実感に満ちあふれていました。



↑60km以上の道のりをマウンテンバイクで走破しました ←二瀬川渓流での沢登りは難所がいっぱいでした

手作りのイカダで阿蘇海に浮かぶ子どもたち



Vol.5 2歳児子育て講演会

「反抗期」を迎える2歳児の保護者を対象に開催されている子育て講演会。育児のヒントが数々の講演会にぜひご参加ください。



↑講演会の様子
→保育ルームを開設していますので、安心してご参加いただけます



2歳児のころ

行動が活発になり、いろいろな生活習慣を身につけ、自分のことは自分でやれるようになってくるのが2歳の頃です。

何でも自分でやってみないと気がすまない、ダメだという余計にやりたがる、自分の思いどおりにならないとひっくり返って怒る。いわゆる「反抗期」の時期です。

2歳児の保護者は…

2歳は自我が芽生え始め、反抗期の始まりの時期です。子どもはこの時期を経て発達していくのですが、保護者にとって思わぬ抵抗にこぼれ、イライラしたり、不安になったりすることが多いようです。「叱ってばかりの気がする」「しつけ方がわからない」などの声をよくお聞きします。

講演会の内容

この時期の子どもの発達過程を知り、少しでもゆとりをもって育児をしてもらうため、また保護者同士の仲間作りを支援するために子育て講演会を実施しています。内容は主に次の3つです。

- ① 臨床心理士（山添恵子氏）による子どもの心の発達についてのお話
- ② 保護者交流会
- ③ 講師との個別相談（希望者のみ）

講演会の様子

講師はスクールカウンセラーとして丹後地域でご活躍中で、「小中学校などでいろいろな心の相談を受けていると、幼少期にその芽があることが多く、幼児期がとても大切」と話されました。自我が芽生える2歳の時期にしっかりとした「大人との信頼関係」や「基本的安定感」を

今後の予定

- 10月17日（火）開催
岩滝保健センター／平成16年7月～9月生まれ児の保護者
- 1月31日（水）開催
野田川わくわく／平成16年10月～12月生まれ児の保護者

◎介護保険制度は住民の助け合いによって成り立っています 滞納のないまちづくりをめざします

介護保険制度が始まってから6年が経過し、この間サービス利用は飛躍的に増加し、それに伴って介護保険料もアップしています。そんな中、介護保険料の滞納も年々増加しており、平成18年6月現在で第1号被保険者分（65歳以上）の滞納額は約1,000万円に上ります。

介護保険は医療保険制度や年金制度と同様に国民の相互扶助の精神で成り立っていく制度です。その根幹が崩れると制度そのものが崩壊することにつながります。町ではこのことを重く受け止め、「与謝野町介護保険料滞納者に対する保険給付の制限等に関する要綱」を7月3日付けで告示し、滞納整理処分を強化することにしました。今回は、その概要についてお知らせします。

滞納とは

介護保険料の納付期限内に納入がない場合、町は納入義務者に督促状を送付します。督促状に指定した納入期日以内に納付がない場合は、期日の翌日から滞納扱いとなり、滞納処分の対象となります。

介護保険料を滞納すると…

- 不動産等の差し押さえ・換価処分
介護保険料は、町税と同様に国税徴収法に準拠して、滞納処分を行うことができます。具体的には、滞納者が所有している不動産や預貯金、債権等の差し押さえおよび換価処分が行えます。
- サービスを利用した場合の支払方法の変更
通常は利用者がサービス費用の1割分をサービス提供事業所に支払い、残りの9割分を保険者である町が負担します。しかし、滞納者については、一旦サービス費用の全額をサービス提供事業所に支払い、後に9割分を町に請求する償還払いの方法に変更されます。
- 給付の一時差し止めと滞納保険料の控除
償還払いへの支払方法の変更を行ってもなおかつ滞納の状況が解消されない場合は、町は9割分の返還を一時的に差し止めることができます。さらに、給付の差し止めを行ってから1か月経過しても状況が変わらない場合は、差し止めしている給付額から滞納保険料分を差し引いて支払うこととなります。なお、処分を決定する際には、事前に当事者に弁明の機会が設けられています。
- 1割負担から3割負担に変更
介護保険料は差し押さえ処分等の時効の中断行為が行われないと、納期限から2年後に時効消滅となります（税は5年）。仮に時効消滅した場合、なんのペナルティーも科せられないのかということではありません。この場合は、サービス利用の際の負担割合が時効消滅した滞納期間に応じた期間、1割から3割に変更されます。

介護保険制度は住民の助け合いの制度です

滞納者に対する処分の内容を説明しましたが、町は処分を目的としているわけではありません。要綱の制定により町の姿勢を示しながら、滞納者と納付相談の機会を設け、また徴収事務に積極的に取り組むことにより、滞納のない町づくりをめざしています。「今自分は困っていないから」ではなく「将来介護を受けなくてはならなくなった時のために」の発想で、安心して暮らせる町をめざしましょう。

● 問い合わせ先
福祉課（加悦庁舎）
TEL 43-1513



与 謝野町に国際交流員(CIR)として着任させていただいたハリーチュと申します。1983年に台湾で生まれて、5歳になると5人の家族と一緒にカナダのバンクーバーに移住しました。それからずっとカナダで暮らして、たまに祖母と祖父に会うために台湾に戻ります。ですから私は台湾系のカナダ人です。

5 歳の時にバンクーバーに移住したので、初めて文化の違いに接したのはだいぶ前のことといえますが、バンクーバーの環境で育ってきたから、私はそう感じていません。私にとって初めて文化の違いに接したのは大学1年生の時です。その時には私の大学(Queen's)から留学生としてイギリスに行きました。いろいろなヨーロッパの文化や人々と交流して、だんだん国際交流に関して興味を持ち始めました。

大 学2年生になると私の大学に戻って勉強して、3年生でもう一度留学しました。今回は日本でした。私にとっては日本がそれまでに行ったことのある国と全く違うと感じました。例をあげると、私は日本に留学していた時には「能」の部活に参加していましたが、驚くことがありました。日本では部活でもみんなが一生懸命に取り組んでいると気づきました。もしカナダだったら、部活に参加というとみんなが楽しめるのを大切にしています。毎日厳しく練習すると、その部活の楽しさがどんどん無くなってしまおうという考えがあるからです。一方で日本人にとっては毎日一生懸命にやるとみんながどんどん仲良しになって部活以外の活動も一緒にするようになるという考えがあります。こういうことも外国人の概念と違うところの一つです。国際交流に関して大切なことがだんだん分かるようになりました。それぞれの国において違う考え方や方法があり、どっちが正しいと言うことは難しいことが分かりました。その経験を元に国際交流のために、私の大学でお茶クラブをつくりました。各国のお茶は様々な歴史や作り方があり、お茶を飲むことを楽しめるようになりました。みんなが集まって、お茶を通して国際交流が少しずつできるということでした。

日 常生活の中の小さいことがらをきっかけに国際交流を始められることを伝えたいと思い、JET(語学指導等を行う外国青年招致事業)のCIRとして参加したくなりました。ここでもたくさんの人と国際交流したいと思えます。みなさんよろしくお願ひいたします。

時の贈り物 [第五回]

まちの文化財



滝のツバキ Camellia

- 品種/ツバキ科ツバキ属クロツバキ
- 樹齢/推定1200年
- 規模/樹高9.7m、枝張り径10.0m、幹周3.26m
- 場所/与謝野町滝の山中。加悦椿文化資料館から1.8km
- 指定等の状況/京都府指定有形文化財・天然記念物(平成元年4月14日指定)

滝地区の山中、狭く深い谷奥の大田和・深山にもかつて集落があり、人々の生活が営まれていました。そこには人の想像を超えた巨木の椿があります。通称を千年椿。国内最古の古木の一つとされ、三月下旬から四月上旬にかけて、濃紫紅色のやや小振りな花が枝葉の間をうめ尽くします。その姿はまさに霊椿と呼ぶにふさわしいものです。

椿について調べてみますと、人々は古来から椿に対して長命・霊力を感じ取り、特別な木とみていたことがわかります。一説には、冬でも艶やかな肉厚の葉、そして雪の中でも花を咲かせることに力強い生命力を感じたからとも言われています。

◎ 滝のツバキ

— 悠久の生命力を発する霊椿の姿 —

(与謝野町教育委員会)

今月のオススメの一冊

与謝野町立図書館(知遊館1階) TEL 46-2451
加悦分室(加悦地域公民館2階) TEL 43-0335
野田川分室(町中央公民館1階) TEL 43-0087

● 一般書



『月のものがたり』
月の光がばなうセシメンタル&ノスタルジー
鈴木光司 編
ソフトバンククリエイティブ

『リング』『らせん』の鈴木光司が贈る「月」をめぐる日本の名作集。「竹取物語」から常に文人たちに描かれてきた月をテーマにした作品が収められています。我々の先祖は、月にどんな想いを託していたのか。秋の夜長に美しい月を見ながら思いはせてみてはいかがでしょうか。



『着物あとさき』
青木玉 著 野中昭夫 写真
新潮社

母・幸田文や祖父・幸田露伴の着物を、創意工夫によってその着物に込められた思いも受け継いでいく、著者の着物や家族への愛情が伝わってくる本。「絹の表情」という章では、著者が天橋立を経て京丹後市の丹後ちりめんの工場を訪れた様子が書かれています。

● 児童書



『むしのあかちゃん』
伊丹市昆虫館 編
柏書房

虫たちはいったいどんな風に生まれてくるのかな。全然違うかたちの赤ちゃんや、フタ付きの卵や柿の種みたいな卵などユニークな虫の赤ちゃんを写真とイラストで紹介。虫についてもっと知りたくなったらシリーズの『むしのうんこ』もぜひ読んでみてください。



『つきよのかいじゅう』
長新太 さく・え
佼成出版社

山の奥にある深い湖で怪物が出るのを10年も待っていた男が見たものとは…。こんなことあるわけがないと思ってしまう内容ですが、子どもたちには大人気のお話です。月のきれいな夜に読むと、さらにイメージがふくらんで、絵本の世界を楽しんでいただけることうけあいです。

● その他にも…

【一般書】 ●『日本が100人の村だったら 今の日本/昔の日本』水野かおる/データハウス ●『死体は切なく語る』上野正彦/東京書籍 ●『ぼく、ドラえもんでした。』大山のぶ代/小学館 ●『日本沈没 上・下』小松左京/小学館

【児童書】 ●『マーリン 1~5』T. A. バロン/主婦の友社 ●『がっこうのなぞ1・2』草土文化 ●『声にだすことばえほん 馬の耳に念仏』斎藤孝 編 はたこうしろう 作/ほるぷ出版 ●『くもりのちはれせんたくあちゃん』さとうわきこ 作・絵/福音館書店

おはなし会のお知らせ

- 本館 10/7(土) ①午前10時30分 ②午後3時
- 野田川分室 9/16(土) 午後3時
- 加悦分室 10/14(土) 午後3時

休館日

- 本館・加悦分室(毎週月曜) 9/11・18・25
- 野田川分室(毎週火曜) 10/2・9
- 共通(毎月最終木曜) 9/28

開館時間

午前10時~午後6時

図書館からのお知らせ

(10/15まで)

平成18年度工事発注見通しを公表しています

役場総務課で、平成18年度工事発注見通し(第1回)を公表しています。

どなたでも閲覧していただくことができます。閲覧にあたっては、以下の点に留意してください。

【留意事項】

- 閲覧していただく資料は、公表時点において発注する見通しがある工事を掲載しています。
- 工事に必要な土地等の取得ができていないものや地元関係者との協議・調整ができていない工事などは、掲載していません。なお、これらの工事は、条件が整えば公表することなく発注することがあります。
- 掲載している工事は、内容に変更が生じる場合があります。
- 発注予定金額は、公表することができませんので、ご了承ください。
- 掲載している工事の内容に関してのお問い合わせには、お答えすることができませんので、ご了承ください。

【問い合わせ先】総務課 TEL 46-3003

平成18年事業所・企業統計調査にご協力ください!



10月1日を基準日として全国一斉に「平成18年事業所・企業統計調査」が実施されます。

この調査は、全国のすべての事業所を対象として行われます。調査結果は、国や町がより地域に密着した行政を進めていく上での資料として活用されます。

与謝野町においても、9月下旬から調査員が調査票の記入依頼に各事業所を訪問しますので皆様のご協力をお願いします。

なお、調査票に記入いただいた内容については、統計以外の目的に使われることはありません。(税金等とは無関係です)

【調査内容】名称、所在地、状況など

【調査方法】調査員が各事業所を訪問し、調査票の記入依頼を行います。

【問い合わせ先】総務課 TEL 46-3003

「町の花」「町の木」が決定しました

町では、合併を機に「水・緑・空 笑顔かがやく ふれあいのまち」を目指し、そのイメージにふさわしい「町の花」「町の木」の選定を進めてきました。5月から7月にわたり町民の皆様から応募していただき、112人の応募総数の中から選定委員会において「与謝野町のシンボルとしてふさわしい」「地域に愛されるもの」「栽培しやすく観賞にも適している」の3点を主な選定基準として協議した結果、花は「ひまわり」に、木は「椿」に決定しました。

今後は、与謝野町の花・木として普及活動等を展開していく予定です。

● ひまわり

応募理由には「『笑顔かがやく』にふさわしい」「町民を元気にしてくれる」などがありました



● 椿

応募理由には「凛として咲く花の姿に、新町が未来に向かって栄えありと願う」などがありました



自転車に専用プレートをつけませんか ～エコバイクプロジェクト～

「自転車の利用」を切り口に地球温暖化防止活動を実践する「エコバイクプロジェクト」がNPO法人丹後の自然を守る会によりスタートします。

地球規模で進む地球温暖化は、二酸化炭素などが大気中に充満し気温が上昇することで、海面の上昇、生態系や農業にも影響が懸念されています。温暖化を防止するためには、二酸化炭素などの温室効果ガス放出量を減らすことが重要です。

エコバイクプロジェクトは、二酸化炭素などを排出する自動車から自転車利用を推進するため、専用のプレートを自転車に取り付けることで家族・友人・地域の温暖化防止の意識向上と実践を促すものです。

このプレートは各役場庁舎で無料配布していますので、この機会に自分専用プレートを取り付けみんなで環境を守る取り組みを実践しましょう。

【問い合わせ先】

NPO法人丹後の自然を守る会 TEL 46-9004 (蒲田代表宅)



↑自転車のかごやサドルに取り付けて「エコ活動」に参加してみませんか

延長窓口を実施しています

- 【本庁(岩滝)】 毎週水曜・午後7時まで
- 【野田川庁舎】 毎週月曜・午後7時まで
- 【加悦庁舎】 毎週金曜・午後7時まで

住民票、印鑑証明等は、どこの庁舎でも交付できます。

● 訂正とお詫び

「広報よさの8月号」で誤りがありましたので次のとおり訂正し、お詫びいたします。

【5頁・町政懇談会】

(誤) プラントは80億円
与謝野町は1,524億円

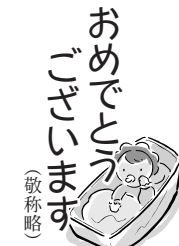
(正) プラントは80億円
与謝野町は237億円

町内に配付している
広報誌には掲載しています



この欄で紹介する出生とお悔やみは、7月16日から8月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望されたい方のみを掲載しています。

町内に配付している
広報誌には掲載しています



・まちのうごき・

平成18年8月1日現在
人口 25,685人(-11)
男 12,185人(-6)
女 13,500人(-5)
世帯数 8,915戸(±0)
※括弧内は前月比



9/24 丹後王国古代まつり

古墳公園で開催される、古代劇、古代王国レース、古代体験教室など「古代」をテーマにしたイベント。はるか1600年前にタイムスリップできます。
☎加悦町商工会 TEL 43-1446



9/23・24 加悦工芸の里秋季フェア

加悦工芸の里入村作家のクラフトフェア。木工、彫金、陶芸など様々な手工芸職人が集う工芸の里。その入村者の作品が勢ぞろいします。
☎商工観光課 TEL 46-3269

秋のイベント情報

芸術の秋、スポーツの秋、そして食欲の秋。いよいよ秋到来です。町内でも各種イベントが盛りだくさん。ぜひお越しください。



10/8 よさの大江山登山マラソン

シドニー五輪銀メダリストのエリック・ワイナイナ選手もゲストランナーで出場。登山マラソンに挑戦するランナーに温かい声援をお願いします。
☎教育委員会 TEL 43-2193



10/20～22 きものを楽しむ日 10/1～11/15 きものを楽しむ月間

この季節には、きものイベントや結婚式等きものを着ていただく機会も多くあると思います。ぜひ和装でお出かけください。